

山口県における沿岸漁業の担い手 対策の検討(浜の女性)



大谷誠¹(研究代表者:写真)

¹ 水産研究・教育機構 水産大学校 水産流通経営学科

研究の目的

山口県における浜の女性の活動を推進するために、必要な環境整備のあり方の特定を目的とします。とくに、浜の次代を担う女性を確保するために、研修生及び研修修了者(ニューフィッシャー)の妻を対象として①定着環境、②女性部の活動環境について把握します。

研究の成果

(1) 山口県の浜の女性の現状

山口県における漁協女性部員数、起業活動数、漁協役員数は全国的に上位にあります。ただし、50歳以下の漁協女性部員は全国平均以下です。

(2) 活動と政策の推移

女性部の活動は、漁家における貯金を推進する「生活改善運動」、合成洗剤をやめる「環境改善運動」、漁家の所得補完や女性の経済的自立に向けた「起業化」が推進されてきており、現在は「フレッシュミズ山口部会」や「農林漁業女子ステキ・スタイル応援事業」が政策的に進められています(表1)。

表1 浜の女性をめぐる政策状況

年度	政策名、実施機関	内容・目的
平成27年	第4次男女共同参画基本計画	第4分野「地域・農山漁村、環境分野における男女共同参画の推進」
平成28年	JF全国女性連	フレッシュ・ミズ部会設立 ・対象50歳以下 ・次世代の担い手の育成と人的ネットワーク構築
平成29年	水産基本計画	「水産業における女性の参画の推進」(第2+1-(9))設置
平成30年	JF山口	フレッシュ・ミズ山口部会設立 ・次世代の担い手育成と人的ネットワーク構築
	山口県	農林漁業女子ステキ・スタイル応援事業 ・次期女性リーダーの育成

(3) ニューフィッシャーの妻のニーズ

① 定着環境

夫婦操業を希望する場合の妻に対する漁業研修の機会、妻が人間関係を構築するための機会の創出、住宅確保に関する支援にニーズが存在します。

② 女性部

漁協女性部の活動は、若手女性が地域に関われる受け皿となっています。ただし、高齢女性との活動内容に関するギャップが存在します。とくに、ニューフィッシャーの妻は、夫の漁業を手伝う者や漁業外就業する者、専業主婦(家事と子育てに専念)の者など、生活スタイルが多様です(表2)。

また、活動の意向も、生活スタイルの多様化に伴って、個人差が大きい現状にあります。

表2 浜の女性の生活スタイルと環境整備の関係

生活スタイル	活動の意向	環境整備
漁業手伝い	・ 漁業研修 ・ 労働環境の改善 ・ 漁業所得向上	・ 研修機会 ・ 家族経営協定 ・ 起業化
漁業外就業	・ 就業機会の確保	・ 就業情報の提供、仲介
専業主婦	・ 漁村住民との関係構築 ・ 生活環境の改善 ・ 自己実現	・ 人間関係の構築機会 ・ 漁村生活改善士 ・ 女性部の生活改善運動 や環境改善運動

波及効果・政策提言

- 女性の生き方が多様化している現代社会において、ニューフィッシャーの妻も例外ではなく、個人個人の生活スタイルや活動に関する意向が多様化しています。このため、浜の女性に対する環境整備は、多様化に応じたメニューをそろえることが求められていると考えられます。



図1 研究成果の波及効果